

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	たつち	公表日	2026年 1月 24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 活動しやすいようにと室内のリフォームをし、防音できる個室、メインとサブの部屋に仕切りの戸をついた。 児発と放ディの利用人数に応じた調整が必要。 児発の年長コースに学校の環境を設定したいめ、放ディが少し狭い部屋を利用することになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 児発と放ディの利用人数に応じた調整が必要。 児発の年長コースに学校の環境を設定したいめ、放ディが少し狭い部屋を利用することになっている
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 定められた人員配置基準を守っている。 特別な支援や配慮が必要な場合や活動内容に応じて職員の配置数には考慮している 児発、放ディの活動に工夫をしている 	今後も継続しておこなっていく
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場にあつた坂をなくし、フラットな床にして部屋の境に仕切りの戸をついた 	<ul style="list-style-type: none"> 児発が療育中に放ディがトイレの使用等で部屋を通らなければならない
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 活動に合わせた空間になるよう都度工夫している ・毎朝、清掃の時間を設け、清潔でここちよく過ごせるよう努めている ・換気や消毒等を行い、清潔に保てるよう努めている 	今後も継続しておこなっていく
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 認められる環境ではあるが移動や使用の際は指導員に確認、承諾を得ていく、などのルールを設けている 	今後も継続しておこなっていく
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 朝のミーティングで振り返りや支援の確認を行っている 	朝のミーティングで行なったことをパートさんにも共有できるように努める。現状に満足することなく日々改善を行える環境を作っていく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 毎年実施している。いただいたご意見や結果を踏まえて改善につなげている 	<ul style="list-style-type: none"> さらに共通理解のためのチームワーカーが必要を感じる。現状に満足することなく日々改善を行える環境を作っていく
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 各々の意見等を出して話し合う機会を設けており、業務改善につなげている 	<ul style="list-style-type: none"> 努力はしているが共通理解のためのチームワーカーが必要。現状に満足することなく日々改善を行える環境を作っていく
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、利用者と事業所内の評価となっている 	実施に向けては今後の検討課題として行く
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 毎月内部研修を行い、外部の研修にも業務に支障が内容参加に努めている ・研修等 参加することでコミュニケーションが取れている 	より多くの職員が研修に参加できる機会を確保できるよう努める
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムに沿った支援内容に努めている。 HUGにて公開 	今後も継続しておこなっていく
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 支援計画は半年ごとに保護者様とモニタリングにて振り返りを行い、複数の職員の記録なども確認しながら評価し、ニーズや課題を客観的に分析して作成している 	今後も継続しておこなっていく
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のミーティングで意見や報告をしあっているが、知識をふかめていくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も全職員で課題や成長、変化、支援方法などについて話し合い、検討、作成している
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> その日の利用者さんの支援計画には担当スタッフが目を通し、計画に沿った支援にあたっている 	たつちに配属されて間もない職員に対して、丁寧な説明とアドバイスをおこなっていく

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の行動観察と、おこなった支援についての記録をとり、確認している	今後も継続しておこなっていく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・ガイドラインに沿って個別支援計画を作成。個別支援計画の振り返りとともに、お子様や保護者様のご意向を確認して目標や支援内容を設定している ・就学前の利用の方には本人支援、家族支援に十分な配慮を意識している	今後も継続しておこなっていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		事業所が大事にしている支援や利用者の将来の姿を意識したプログラムになるよう、全職員で意見を出し合ったり、そのプログラムの担当者が立案し、実現できるよう準備、設定している	今後も継続しておこなっていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・職員が個々のアイデアを出し合えている ・季節や各コースの利用者の特性や特徴を考慮し、工夫している ・土曜日活動は、特に利用者が興味を持って楽しく参加できるプログラムや活動になるよう工夫している	今後も継続しておこなっていく
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別支援計画に基づき、集団活動をメインとする中に個別活動も取り入れたり、個々の状況に応じて支援をおこなっている	・完全な個別活動の機会があまりない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎日、午前と午後のミーティングをおこない、支援内容や役割分担について確認している	今後も継続しておこなっていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎や保護者様との面談があり、支援終了後の時間には全職員での打ち合わせを行うことが難しいため、翌朝のミーティングで申し送り、振り返りを行い、共有している	送迎や保護者様との面談があり、支援終了後の時間には全職員での打ち合わせを行うことが難しい。送迎を行なうドライバーの採用をおこなう
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGシステムの活動記録に行動記録、おこなった支援などを入力している。振り返りの場で話し合い、支援の検証や改善に努めている	今後も継続しておこなっていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月に一度のモニタリングで見直しをおこなっている	今後も継続しておこなっていく
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		必要に応じて参画している	今後も継続しておこなっていく
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じてそれぞれの機関と連携や情報提供できるよう体制を整えている	今後も継続しておこなっていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要に応じておこなっている。今後も継続しておこなっていく。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学先の小学校に連絡を入れ、直接うかがったり、電話などでたっちでの様子やどのような支援があれば良いかなどを伝えて情報共有をし、就学後も連携をおこなっている	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じてそれぞれの機関と連携や情報提供できるよう体制を整えている	今後も継続しておこなっていく

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		現在おこなっていないが機会があれば検討し、その機会を設けていきたい	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		5	連絡ノート、メール、電話などで伝え合っている	今後も継続しておこなっていく	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	ペアレントトレーニングをおこなっている	・今後はペアレントトレーニングの他、ピアトレーニングも検討している ・お母様だけでなく、ご夫婦、祖父母で参加できる場を設けたい	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		5	契約時に説明をしている。また随時、不明な点など説明を求められた時は丁寧な対応に努めている	今後も継続しておこなっていく	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		5	お迎えの面談時やアセスメント、6ヶ月ごとのモニタリングの際に、ご意向の確認や要望をうかがっている	今後も継続しておこなっていく	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		5	HUG上の個別支援計画を見ていただきながら補足も加えながら丁寧に説明し、同意を得ている	今後も継続しておこなっていく	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		5	6ヶ月ごとの懇談時だけでなく、保護者様の要望に応じて随時、面談や助言や支援をおこなっている	今後も継続しておこなっていく	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	2	・今年度はペアトレに参加いただいた保護者の交流はあった。 ・ブログラムを企画したいと考えている	今後も継続しておこなっていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		5		・相談・苦情・申入れについては契約時に説明をし、それらがあった場合は、上司に即報告し、対応している。	今後も継続しておこなっていく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		5		HUGシステム内で活動や行事予定、連絡等を発信している。土曜日活動の様子は新聞を作成し、玄関に提示している	今後も継続しておこなっていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		5		全職員は個人情報に係る契約書を交わし、支援業務に従事している。また個人情報の書類などは施錠できる書庫で保管し、持ち出しが厳禁としている	今後も継続しておこなっていく
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		5		お子様の特性や理解に合わせたやり取りを心がけている。保護者様には、メールだけでなく、必要に応じて電話もかけて確実に伝えられるよう努めている	今後も継続しておこなっていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	2	・参観週間を設けている	今後も継続しておこなっていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		5		マニュアル策定し、緊急時対応マニュアルは契約時に保護者様に配布している。また検討委員会を開催し、毎月職員の研修、年に2回地震や火災を想定した避難訓練もおこない、緊急時の対策に取り組んでいる	今後も継続しておこなっていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		5		BCPを策定し、定期的に訓練を行なっている	今後も継続しておこなっていく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		5		アセスメント時に確認したり、サポートブックと健康調査票を記入いただくことで確認している	今後も継続しておこなっていく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		2	1	未回答2 医師による指示書はないが、保護者様からの情報を得て対応している	調理や市販のものを購入して食べる機会の際に は、再度確認する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		5		各マニュアルの中で安全計画を作成。定期的に読み合わせや点検・確認をおこない、安全管理に努めている	今後も継続しておこなっていく
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5		契約時にマニュアルをお渡しし、必要項目を読み上げと説明をしている	今後も継続しておこなっていく

	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事象が発生した場合は、報告書を作成し、職員間で共有し、対策について検討している	今後も継続しておこなっていく
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修を実施し、職員間で認識の確認と適切な対応方法を学び、対応している	今後も継続しておこなっていく
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		今まで、たっちでは身体拘束は行っていない。支援計画書に記載と、必要時には事前に説明をする	今後も継続しておこなっていく